

AEM

Qualification + テスター

ネットワーク サービスアシスタント

新しいクラスのQualification+ テスター
単一の多機能リンクテスターで資格と認証の溝を埋める
橋渡しをします





資格と認証の間の ギャップを埋めます

受賞歴のあるネットワークサービスアシスタントQualification+テスターは（NSA）、Certi-Liteテクノロジーを搭載したハイブリッドソリューションです。Certi-Liteは、双方向認証に使用される多くのパラメーターに対して、ANSI/TIA-1152-Aのシングルエンドケーブルテストを行います。従来の認証装置と比べてはるかに低価格（数分の1の価格）で提供されています。シングルエンドケーブルテストではケーブルメーカーの認証は得られませんが、保証を必要としないユーザーや、単なるワイヤーマップ 以外の詳細なケーブルテストを求めるユーザーに対し、NSAはCerti-Liteを提供する最初のテストソリューションです。

NSAは、ケーブルテストのより詳細なレベルと、有線および無線ネットワーク接続テストが必要なシステムインテグレータ、ケーブル請負業者、およびIT部門によって使用されています。

ハイレベルテスト・サポートの概要



Certi-Lite

Certi-Liteは、CAT3からCAT6AまでのシングルエンドのANSI/TIA-1152-A準拠のチャンネルテストを提供し、合格/不合格を明確に示し、詳細なテストレポートを提供します。



光損失 とOTDR

シングルモードとマルチモードのループバック光損失テストをサポートし、ハイブリッド電源ファイバーを使用する場合、電気導体上の電圧も同時にテストします。OTDRアダプタは、技術者が壊れたファイバーやその他の損失イベントの位置を容易に特定できるようにし、光損失テストに失敗する原因を特定します。



マルチギガビットリンクスピード

1/2.5/5/10GBASE-T のケーブルリンク速度を検証します。エンド・ツー・エンドの信号対雑音比（SNR）測定は、同時トラフィックおよびPoE負荷条件下でのリンクパフォーマンスを迅速かつ客観的に評価します



パワーオーバーイーサネット（PoE）

PSEでのPoE設定を包括的にテストし、PDジャックでの電流、消費電力、電圧を報告します。PSEとのPD否認をエミュレートし、802.3af/at/btおよびUPoEをサポートします。外部負荷ボックスを使用した持続的な負荷テストでは、電力を「ダイヤルアップ」できます。



有線ネットワーク接続テスト

ネットワークの検出では、デバイスの詳細まで掘り下げ、接続されたすべてのデバイスを自動検出します。スイッチの詳細には、スロット/ポート/VLAN、スイッチ名、製造元/モデル、ポートの機能、MAC/IPv4/IPv6およびVLANの使用状況の詳細が含まれます。ネットワークディスカバリーは、接続されたデバイスを明らかにし、詳細な調査およびトラブルシューティングのための掘り下げ機能を提供します。トラブルシューティングキットには、トレースルート、ping、トーンジェネレータなどが含まれます。



Wi-Fiテスト

すべてのアクセスポイント（AP）とそれらのSSID、RSSI（受信電力レベル）、およびチャンネルを検出します。APにログインして接続を確認します。厄介なデッドゾーンを特定するのに役立つローミング信号強度も提供します。トラブルシューティングツールキットには、トレースルート、pingなどが含まれています。



高度なリンク識別（ALI）（ALI）

AEMは、Certi-Lite対応の番号付きリモートIDを使用して、リンク識別をさらに進化させます。標準的なリモートIDが単に1、2、3などに接続されているかどうかを示すのとは異なり、AEMのリモートIDはスマートであり、Certi-Liteをサポートできる能力を備えています。



Certi-Lite

Certi-Lite は、ANSI/TIA 1152-A に準拠し CAT3ーCAT6Aのシングルエンドケーブルテストを行い、シンプルな合格/不合格表示を行います。これにより、ケーブルリンクの整合性が保証され、お客様の要件をサポートします。NSAはリモートエンドに小型のパッシブ終端器を利用してこのテストを行うため、従来のケーブル認証装置と比較してテスト機器の全体的なコストを大幅に削減することができます。

Certi-Liteは認証試験の代替となるか？

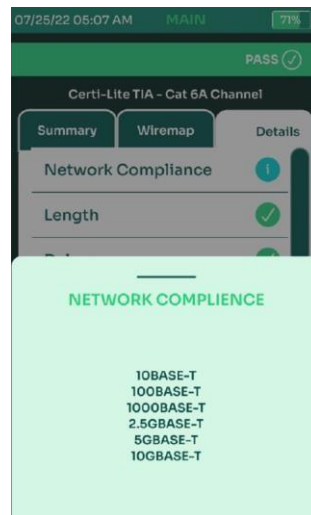
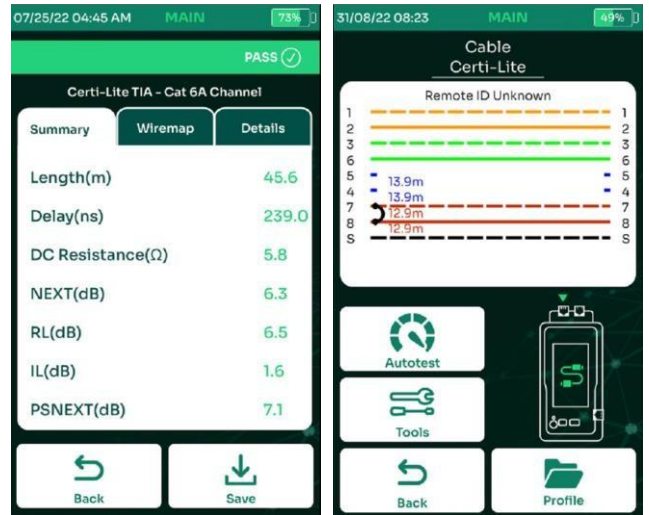
デュアルエンド（双方向）の認証要件がない場合、NSAのCerti-Lite機能は、新しいアプリケーションに適しているかどうかを評価するための理想的なツールであり、特にPoEが大量に使用されるスマートビルディング向けに、価格が大幅に低い点が魅力です。Certi-Liteが最適なテスト方法とされる状況の簡単なリストは以下の通りです：

- CAT6Aなどの規格要件に対する既存のケーブルの性能を再評価します。
- ネットワークの接続性やリンク速度に関する問題のトラブルシューティング
- ケーブルプラントの性能を文書化する
- 移動、、追加、、変更

テスト結果は、有線または無線接続を介してTestDataPro Cloudのテスト結果リポジトリに送信できます。結果はまた、後でPCベースのTestDataPro結果管理ソフトウェアにアップロードするためにメモリに保存することもできます。

* すべてのディスプレイ表示は『日本語』表示が可能です

Certi-Liteの詳細については、『[Certi-Lite: At The Heart Of A New Category In Cable Test](#)』というタイトルの記事をご覧ください。（記事は英文となります）



光ファイバーテスト

NSAは、シングルモードおよびマルチモードのループバック光損失テストをサポートしています。また、ハイブリッドパワーファイバーを使用する場合は、電気導体の電圧テストも同時に行うことができます。これにより、光ファイバーリンクが良好であること、およびテスト結果（ネットワークの制限）に基づいて、サポートできるリンク速度を確認するための可視性を提供します。OTDRアダプターは、技術者が破損したファイバーやその他の損失イベントの位置を簡単に特定できるようにするためのもので、光損失テストが失敗する原因を特定するのに役立ちます。

NSAは、AD-NSA-SM-01アダプターを使用したシングルモードのループバックテスト、およびAD-NSA-MM-01アダプターを使用したマルチモードのループバックテストをサポートします。また、AD-OTDR-SMを使用したシングルモードのテスト、およびAD-OTDR-MMアダプタを使用したマルチモードのテストをサポートします。



* すべてのディスプレイ表示は『日本語』表示が可能です

主な機能:

- ループバック光損失テストは、長さ、遅延、マージン、損失、ネットワーク互換性を含む、損失バジェットに基づいた損失テストを提供します。
- ハイブリッド電力光ファイバーケーブルの電気導体における電圧の測定は、デバイスの末端に十分な電圧レベルが到達しているかどうかをユーザーが判断できます。
- スタンドアロンの光源およびパワーメーターモードを使用すると、ユーザーはデバイスからの絶対電力を測定したり、遠端のループバックコネクタまたは別の光源を使用して相対損失測定を実行したりできます。
- 統合型のVFLは、ファイバー配信パネル内の断線、不良の端子/スパイスの特定、および光が一端からもう一端へと通過していることの確認をユーザーに可能にします。
- USBポートを介した視覚的なファイバ検査プローブのインタフェース - ファイバオプティックの損失テストに関連する際、検査とクリーニングは非常に重要です。コネクタは接続前に検査し、必要に応じてクリーニングし、再度検査する必要があります。これは、テスト機器のリファレンスケーブル、設置済みのファイバーコネクタ、ネットワーク機器のパッチコードに適用されます。
- AEMのマルチモードおよびシングルモードOTDRテストアダプターの追加により、これらは他のテストアダプターと同様にNSAハンドセットに接続され、ユーザーは追加のトラブルシューティング機能を利用できます。OTDRは、現場の技術者に壊れたファイバーやその他の損失イベントの場所を簡単に特定する能力を提供します。光損失テストが失敗する原因を迅速に特定できます。

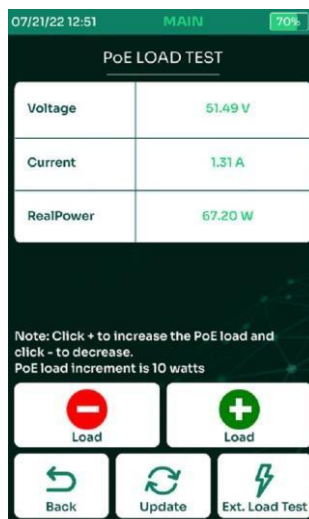
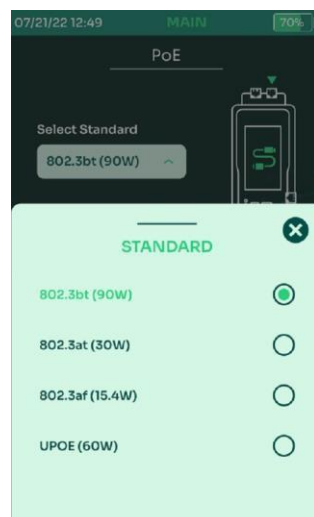


Power Over Ethernet (PoE) の検証

NSAは、IEEE802.3 af/at/bt規格に準拠し、UPoEをサポートする、最も包括的なテスト機能を備えており、PoEの検証に優れています。

NSAの優れた点は、エンドデバイスが展開されるジャックで実際の電力負荷を検証できることです。また、特定のデバイスに適用可能な規格に設定されたWAPやカメラなどのPowered Device (PD) をエミュレートします。さらにPower Source Equipment (PSE) と交渉して、選択した標準に対するPSEからの情報と最高レベルの電力負荷を要求します。

厄介な断続的な電力の問題に対して、NSAは時間の経過とともに電力負荷をモニターすることができます。これにより必要なレベルのしきい値を下回る電力変動をリアルタイムで監視できます。また、NSAは標準のCerti-Liteオートテストの一部として、または単発のクイックテストとしてケーブルリンクのDC抵抗の不均等パラメータを特定することもできます。



* すべてのディスプレイ表示は『日本語』表示が可能です

POE テスト 機能

- ジャックでの実際の電力の負荷テスト
- 電流、ワット数、電圧
- PSE(Power Source Equipment)の検出
- PSEの種類
- PD (Powered Device)クラス
- PoEケーブルのペア
- 継続的な電力負荷のモニタリング

マルチギガビット リンク 速度認定

10ギガビットの技術、価格、性能の向上により、10ギガビットイーサネットは、企業のデータセンターだけでなく、中堅企業のネットワークにも広がっています。また、帯域幅への要求の高まりや企業向けアプリケーションの成長により、10ギガビットイーサネットの導入が拡大しています。TestProのマルチ・ギガビット・テストでは、合否判定に加えて、利用可能なヘッドルームをペア単位で詳細に確認することができます。

NSAは、PSEが存在する場合、トラフィックとPoEの負荷の下で信号対雑音比（SNR）ベースのテストを実施します。これにより実際のパフォーマンスシナリオが提供され、データ信号がワイヤ上のノイズを確実に通過できるようになります。NSAのマルチギガビットオートテストは、ケーブルリンクが目的のネットワークレートをサポートすることを確認するための迅速で簡単なワンボタン操作です。

検証テスト

- 10/100 Mbps
- 1 Gbps

POE 負荷テスト

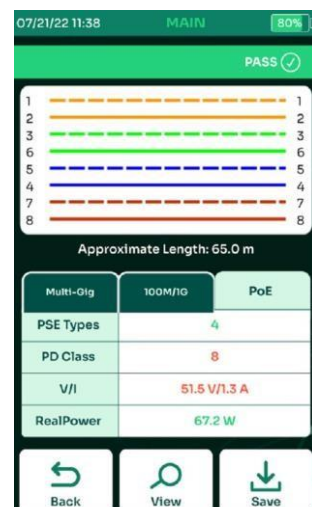
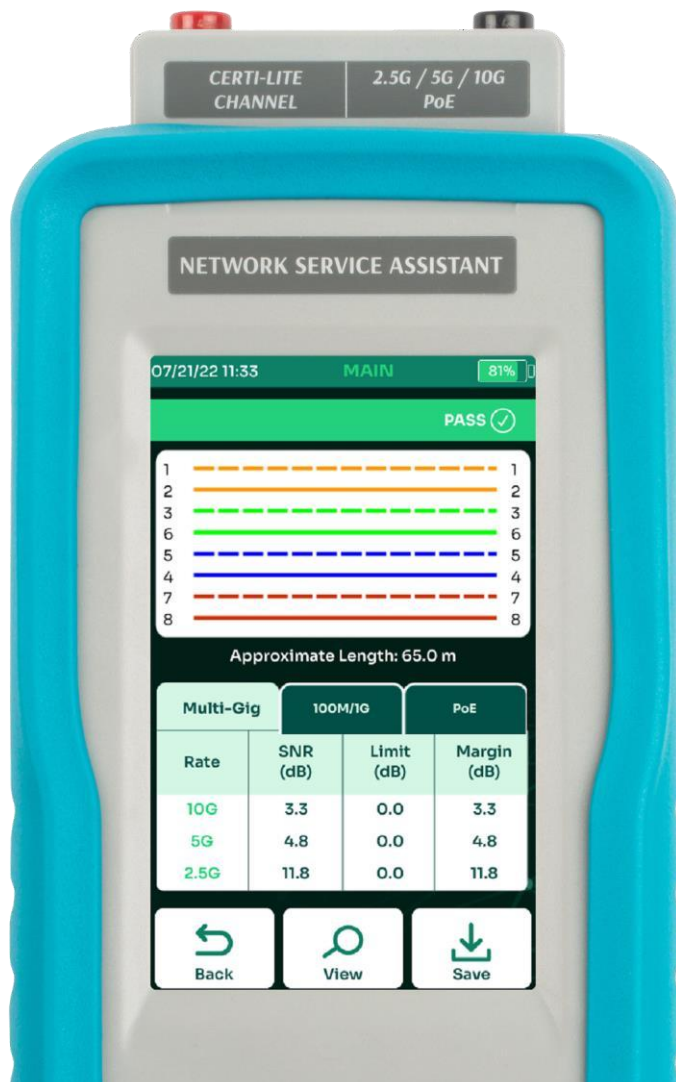
- 802.3 af/at/bt
- UPoE

QoS テスト

- SNR 2.5 ギガビット
- SNR 5 ギガビット
- SNR 10 ギガビット

NSAのマルチギガビットオートテストは、ケーブルリンクが目的のネットワークレートをサポートすることを確認するための迅速で簡単なワンボタン操作です。

* すべてのディスプレイ表示は『日本語』表示が可能です





有線 & 無線接続テスト

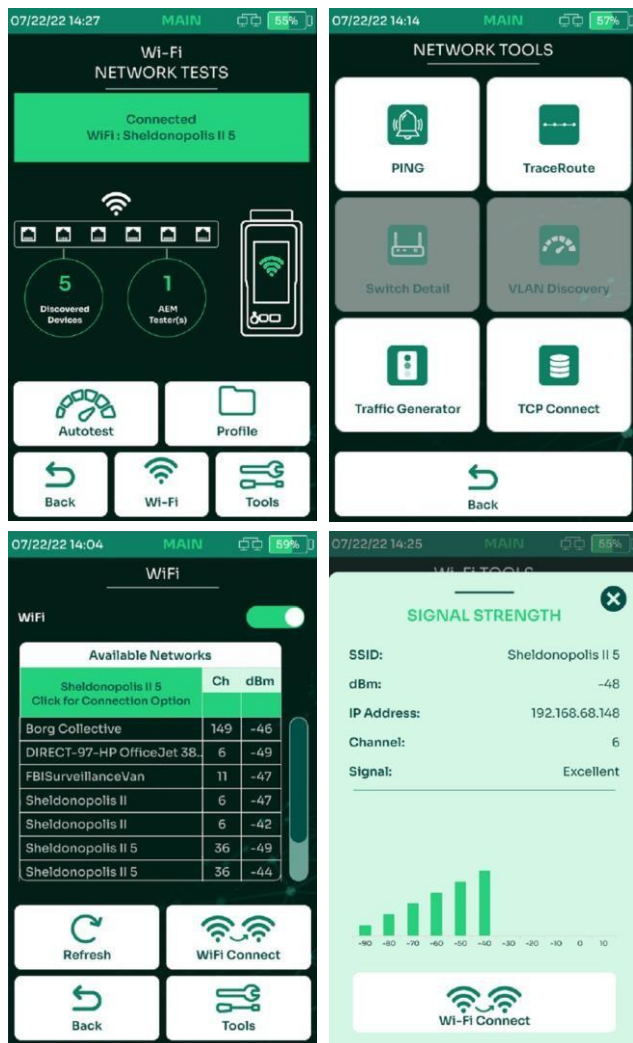
Wired & Wireless Connectivity Testing

BASE-T有線イーサネット接続の詳細

- ネットワーク検出を実行してジャックの背後にあるデバイスを確認
- スロット/ポート/VLANを含むスイッチの詳細
- 接続されているデバイスのIPアドレスのリストを表示
- IPアドレスを選択し、そのデバイスの詳細、MACアドレスなどを表示
- ゲートウェイ、サブネットマスク、DHCPサーバーなどLANの詳細を表示
- 任意のIPアドレスへのトラフィックを生成
- トレースルートを実行し、ボトルネックの接続パスと中間ホップの遅延を確認
- Pingを使用して、ポイントツーポイントまたはインターネット接続と応答時間を確認

Wi-Fi イーサネット接続

- NSAの自動検出により、検出されたすべてのSSIDとそれに関連するRSSI（受信電力レベル）が表示されます。これは、ユーザーが接続しようとしているWi-Fiネットワークに十分な信号強度があるかどうかを判断するのに役立ちます。
- ローミングして異なる場所のRSSI値を確認することでWi-Fiの「デッドゾーン」を判断できます。
- 適切な資格情報を使用して任意のSSIDに接続します
- Pingを使用してポイントツーポイントの接続を確認したり、事前に設定したWebサイトやカスタムのWebサイトのURLを選択してインターネットに接続し、遅延の詳細を確認したりすることができます。



* すべてのディスプレイ表示は『日本語』表示が可能です

有線と無線の両方のネットワークを迅速に可視化する機能には、トラブルシューティングや移動/追加/変更の実行のための機能が 必要です。NSAが提供するいくつかの主要な機能は次のとおりです。

- ネットワークディスカバリー
- トラフィックジェネレーター
- トレースルート
- Ping
- Wi-Fi SSID検出とRSSIの関連付け（信号強度）
- スロット/ポート/VLANを含むスイッチの詳細
- VLANの検出



ご注意:

Wi-Fiテストでは、オプションの「AsusUSB-AC53Nano (AC1200)」または「EdimaxEW-7822ULC Wi-Fi USBアダプタ」が必要です。これらのアダプタは任意のインターネット通販店で購入できます。



Advanced Link Identification

AEMは、Certi-Lite対応の番号付きリモートIDとノイズフィルタ リングトーンプロローブ機能により、リンク識別をさらなるレベルに引き上げています。

通常の「ごく一般的」なりモートIDとは異なり、AEMリモートIDはスマートであり、CAT5e、CAT6、CAT6Aの標準ベースのCerti-Liteケーブルテストをサポートすることができます。これにより、接続した番号付きリモートIDを特定するだけでなく、完全なオートテストを行うこともできます。オートテストの結果は保存することも可能です。

密集した電気ノイズの多い環境では、配線や障害の追跡が難しい場合があります。ノイズは配線クローゼット内の機器から発生しているか、ケーブル経路の隣接するワイヤによって引き起こされていることもあります。該当するキットに含まれる Tempo Communicationsブランドのトーンプロローブ受信機は、ネットワークサービスアシスタントからの出力トーンと連携して動作します。選択可能なフィルタは、ご購入いただいたモデルに基づいて50Hzまたは60Hzのいずれかをサポートし、パワーノイズと高調波をブロックします。これにより、ユーザーは最もノイズの多い環境でも信号を受信し、聞くことができます。

- 調整可能な感度/音量調節
- 強力なリアファイアスピーカー
- LED信号強度表示—複数のワイヤ間に電気信号が混信している場合でも、ユーザーは正しいワイヤーに焦点を合わせることができます
- ワンボタン操作
- 交換可能な先端

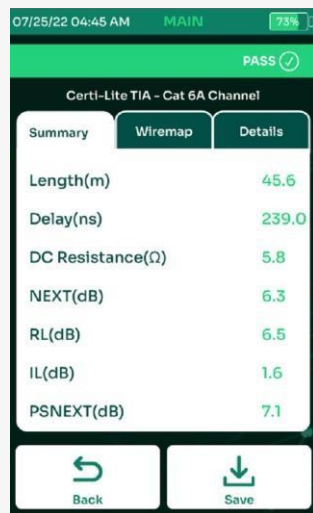


図4-Certi-Liteオートテストの結果は、リモートIDで取得 できます。[詳細]タブをクリックすると、各テスト結果が表示されます。テスト結果は、付属のPCベースの *TestDataPro*に後でアップロードするために、または有線または無線ネットワーク接続を介して付属の *TestDataPro*クラウドですぐにテスターメモリに保存できます。

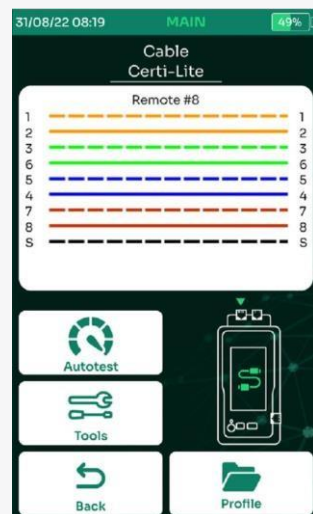
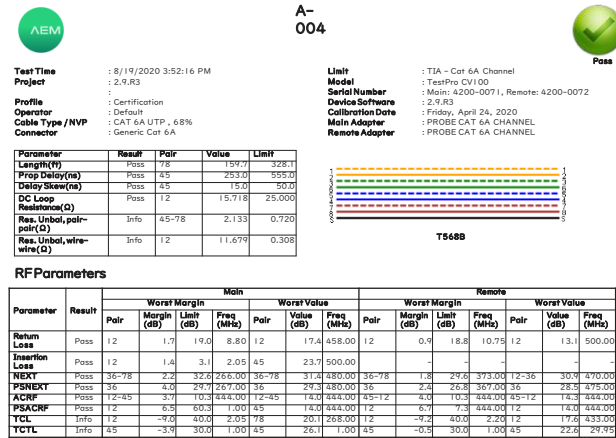
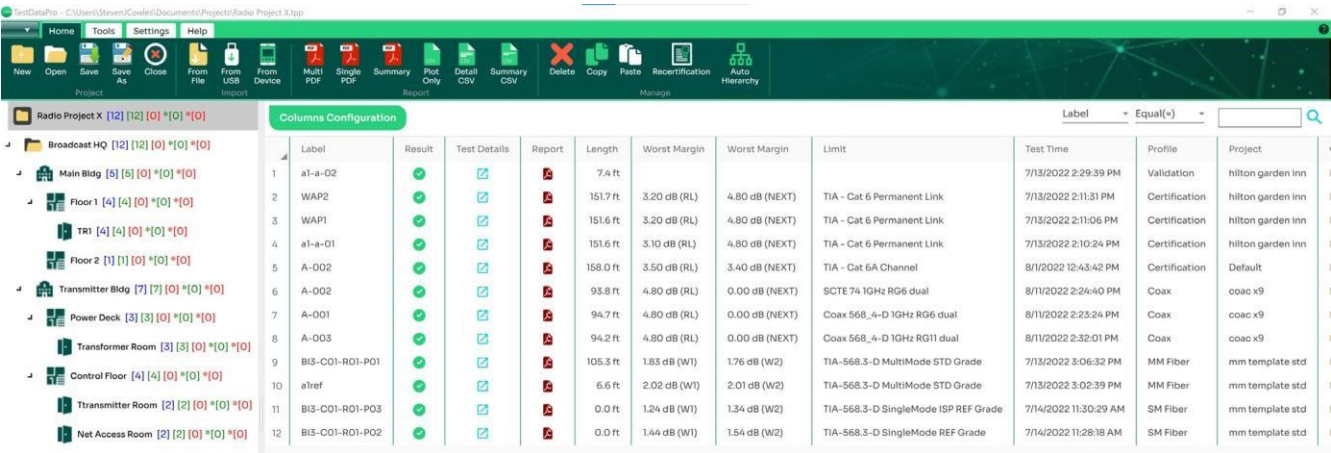


図5-リモートID#8が特定されたワイヤマップ

* すべてのディスプレイ表示は『日本語』表示が可能です

TestDataPro

テストレポート管理PCソフトウェア



TestDataPro は、PC およびクラウドベースのオプションをサポートし、NSAの全モデルに標準装備されています。メタル線および光ファイバーの印刷されたテスト・レポートには、テストされたケーブルの性能に基づく準拠ネットワーク・サポートのリストが含まれます。

印刷されたレポートは、メタル およびファイバー・テスト、有線/無線ネットワーク検出のオートテスト、およびマルチ・ギガビット/PoE オートテスト用に提供されます。

ネットワーク検出とマルチ・ギガビット/PoE オートテストにより、新しいサービスへの道筋を提供し、収益の可能性を高めます。

TESTDATAPRO PC管理ソフトウェア

- プロジェクトを定義し、データベースにアップロードされたテスト結果を論理的なグループに分類することができます。

- 単一のサマリーレポートやフルレポートなど、複数のレポート形式とオプションを提供します。

- もし元のテストが誤ったテスト基準で行われた場合、ソフトウェアベースで再認証を行うことができます。

TESTDATAPRO クラウド

- 有線または無線接続により、試験結果をデータベースに即時オフロード可能です。
- 合格/不合格の結果を視覚的に確認することができます。
- 単一のPDFレポートの印刷が可能です。

* すべてのテストレポート表示は『日本語』表示が可能です



NSA プラットフォーム概要

ホットスワップ対応テスト・アダプター

NSAではさまざまなテスト・アダプターをご用意しています。最も一般的に使用されるアダプターは専用キットに含まれていますが、オプションのアダプターを使用することで、プラットフォームの使用範囲を広げることができます。



直感的なユーザーインターフェース

ホットスワップ可能なテストアダプターを交換すると、利用可能なテスト機能が自動的に調整されます。

ホットキー

オートテスト開始およびホーム画面に戻るためのクイックアクセスボタン。

衝撃保護

高密度のゴム製ハウジングが落下からテスト装置と画面を保護します。
標準保証期間は2年間です。
製品登録により保証期間が5年間に延長されます。

タッチスクリーン

衝撃に強いタッチスクリーン

キックスタンド

テスト装置を固定して使用する際に使い勝手を向上させます。

ライブ・ワイヤーマップ

リモートユニットを接続すると、音声とワイヤーマップが表示されます。

接続オプション

Micro USB で直接PCと接続可能

USBType-A

Edimax、Wi-Fiアダプター、ファイバー検査スコープをサポートし、ファームウェアのアップデートや検査結果のエクスポート用にUSBフラッシュドライブも使用しています。

RJ-45イーサネットポート

10/100/1000 BASE-Tテストに対応しており、テストアダプタは不要です。

* すべてのディスプレイ表示は『日本語』表示が可能です

アダプタ & アクセサリ

製品番号	説明	UOM
LINKIDENTIFIERKIT	NSA-リモートIDキット	EA
AD-NSA	サーティライト、マルチギガ、POEアダプター	EA
AD-NSA-SM-01	NSAシングルモード・ファイバー・テスト・キット	EA
AD-NSA-MM-01	NSAマルチモード・ファイバー・テスト・キット	EA
AD-OTDR-MM	マルチモードOTDR アダプタ	EA
AD-OTDR-SM	シングルモードOTDR アダプタ	EA
SM-SC-LC-CORD-150M	SC-LCランチコード、150mシングルモード	EA
SM-SC-SC-CORD-150M	SC-SCランチコード、150mシングルモード	EA
SM-LC-LC-CORD-150M	LC-LCランチコード、150mシングルモード	EA
MM-SC-LC-CORD-150M	SC-LCランチコード、150mマルチモード	EA
MM-SC-SC-CORD-150M	SC-SCランチコード、150mマルチモード	EA
MM-LC-LC-CORD-150M	LC-LCランチコード、150mマルチモード	EA
AD-NSA-COAX-KIT	NSA 75OHM COAXアダプタキット	EA
NSA-COAX-REMOTE-1	同軸リモート ID#1	EA
PROBE-FIBER-INSP	ファイバープローブインスペクション	EA
NSA-REMOTE PACK	リモートID #2-#8	EA
NSA-REMOTE #1	リモートID #1	EA
NSA-MM-SC-K01	NSA SC コネクタ・インターフェイスキット マルチモード	SET
NSA-MM-ST-K01	NSA STコネクタ・インターフェイスキット マルチモード	SET
NSA-SM-SC-K01	NSA SC コネクタ・インターフェイスキット シングルモード	SET



製品番号	説 明	UOM
NSA-SM-ST-K01	NSA ST コネクタ・インターフェイス・キット シングルモード	SET
NSA-MM-LC-CORD-K01	NSAシングルモード用LCリファレンスコードキット	SET
NSA-SM-LC-CORD-K01	NSAマルチモード用 LCリファレンスコードキット	SET
SM LOOPBACK	シングルモートループバックLC	EA
MM LOOPBACK	マルチモートループバックLC	EA
SMLOOPBACKSC	シングルモートループバックSC	EA
MM LOOPBACKSC	マルチモートループバックSC	EA
ACC-SOFT-CASE-LARGE	ソフト・キャリーケース 大	EA
ACC-SOFT-CASE-SMALL	ソフト・キャリーケース 小	EA
ACC-POWER-AD	NSA用AC電源アダプター	EA

技術仕様

テスト規格適合性

メタルCerti-Lite Qualification+テスト	ANSI/TIA-568.2-D, ISO 11801 ANSI/TIA-1152-A
光ファイバーループバック・テスト	TIA-568.3-E and ISO/IEC 14763-3 Ed 2.1
PoE・パワーオーバーイーサネット	IEEE 802.3 af/at/bt, UPoE
マルチギガ リンクスピードテスト	IEEE 802.3 up to 10GBASE-T
有線ネットワーク接続テスト	CDP, LLDP
ワイヤレスネットワーク接続テスト	IEEE 802.11n & IEEE 802.11ac maximum wireless speed up to 300Mbps on 2.4GHz band or up to 866Mbps on 5GHz band

ネットワーク・サービス・アシスタント・プラットフォーム (全バージョン)

キット内の各プラットフォームには、NISTに追跡可能な校正証明書が付属しています。

サイズ	200mm X 105mm X 50mm (7.87in X 4.13in X 1.97in)
画面	55インチTFTカラータッチスクリーン、解像度800×480ピクセル
バッテリー	リチウムイオン、3.7V / 13,200mAh、バッテリー寿命9時間 (標準)
電源アダプタ	5V、3A (供給)、5~12V (対応)、2.1mm DCジャック
オペレーティングシステム	Linux
USB Interfaces	フラッシュドライブストレージ用USB Type-A、PC接続用MicroUSB
RJ45 テストポート	10/100/1G ネットワーク接続テストポート
アダプターインターフェイス	5000回の挿入サイクルで定格、60ピン高周波コネクタ、ホットスワップ可能 (柔軟性と拡張性をテストするため)
測定エンジン	9チャンネル・デュアルエンド・混合モードRFおよびDC測定エンジン。 データケーブルテスト用の業界最高性能を誇る特許出願中の測定アーキテクチャ。
周波数範囲	0.1 - 3,000 MHz



メタルテスト (全てのバージョン)

測定時間	CAT6A Certi-Lite Qualification+オートテスト: 長さ、遅延、DCループ抵抗、DC抵抗アンバランスを含む13秒 P2P、IL、RL、NEXT、PSNEXT、ACRF、ACRN、PSACRN、インピーダンス、RLロケータ-TDR、NEXTロケータ-TDR、シールド・ロケータ-TDR
ワイヤーマップ (障害までの距離を含む)	2本のワイヤーがどのピンでもエンドツーエンドで接続されている限り、すべての可能なワイヤー接続状況が識別されます。
DC抵抗アンバランス	範囲: 0 ~ 100 Ω
	ループ抵抗およびペア間抵抗の不均衡測定は、TIA1152Aの仕様に準拠しています。
トーン・ジェネレーター	730Hzおよび1440Hz
シングルエンドRF測定 IL、RL、NEXT、ACR-F	TIAおよびISO/IEC規格に準拠したすべての必須RF測定
長さ(伝搬遅延)の測定	シングルエンドテスト:0mから100mまで、0.1mの解像度で測定します。
	(0.6,000 nsec、1nsec の解像度)
	1ナノ秒の解像度での遅延スキュー測定
対応ケーブル	4対UTPケーブル
	同軸ケーブル
	光ケーブル (SM/MMペア)
TDR-RL	0-100 m (解像度:1m)
	障害までの距離
TDR-NEXT	0-100 m (解像度:1 m)
インピーダンス	0-1000 Ω
	0.1 Ω 90-110 の解像度 Ω 範囲

PoE (Power Over Ethernet)

特徴/テスト機能	PoE ソースタイプの検出
	最大90Wの負荷テスト
	PoE ペアの識別
	持続不可モニター

マルチギガビットイーサネット

オートテスト パラメータ	各ペアの各速度での信号対雑音比
	ケーブル診断
	PoE 検出
ネットワークテスト	イーサネットネットワーク検出
	スイッチの詳細（ポート、VLAN、機能）
	追跡ルート
	トラフィックジェネレーター／モニター
	Ping
	TCP Connect
	Wi-Fi：SSIDの識別とRSSIの測定

光ファイバー - MMおよびSM共通 (K3 IE、K6 IE)

インターフェーステスト	インターフェース付属テスト:Txポートに交換可能FC、Rxポートに交換可能LC。FC-LC (Tx) およびLC-LC (Rx) テスト・リファレンス・コードは、すべてのアダプター・キット AD-NSA-MM-01およびAD-NSA-SM-01に付属。ファイバー・オプション付きNSA キット (K3 IE、K6 IE) には、上記に加えて、TxおよびRxポート用のSCインターフェース・アダプタ、FC-SC (Tx) およびSC-SC (TxおよびRx) テスト・リファレンス・コードが含まれます。
VFL 光源	波長 650nm
ボルトオームメータ測定範囲、ハイブリッド電源ファイバー	0-60V DC



光ファイバーケーブル - マルチモードおよびシングルモードアダプタ - 固有情報

	マルチモード AD-NSA MM-01E アダプタ	シングルモード AD-NSA SM-01E アダプタ
波長	850nm, 1300nm	1310nm, 1550nm
光源	LED	ファブリペロー (FP) レーザ
送信出力	-20dBm 標準	-2dBm 標準
エンサークルド・フラックス	IEC-61280-1-4およびTIA526-14-C-2015に準拠	非該当
長さの測定	範囲:最大2km (最大10dBのリンクロスがある場合)	範囲:最大20km (最大20dBのリンクロスがある場合)
	長さ測定分解能 0.1m	長さ測定分解能 0.1m
ループバック損失	ループバック損失測定 0~-10dB	ループバック損失測定 0~-20dB

光ファイバー- OTDR

パラメータ	マルチモード	シングルモード
波長範囲	850nm +/- 10nm	1310 +/- 25 nm
	1300nm +35/-15nm	1550 +/- 30 nm
対応ファイバータイプ	50/125 μm, 62.5/125 μm マルチモード	シングルモード
イベントのデッドゾーン	850 nm (2.5m) 1300 nm (4.5m)	1310 nm (0.6m) 1550 nm (0.6m)
減衰デッドゾーン	850 nm (2.5m) 1300 nm (4.5m)	1310 nm (3.6m) 1550 nm (3.7m)
ダイナミックレンジ	850nm (25dB) 1300nm (27dB)	1310nm (29dB) 1550nm (27dB)
最大距離測定範囲	40 km	130 km
距離測定範囲	850nm (9km), 1300nm (35km)	1310nm (80km), 1550nm (130km)
反射率範囲	850nm (-14dB~-57dB) 1300nm (-14dB~-62dB)	1310nm (-14dB ~ -65dB) 1550nm (-14dB ~ -65dB)
パルス幅	3, 5, 10, 15, ..., 24995, 25000 nsec	3, 5, 10, 15, ..., 24995, 25000 nsec



Tel : 050-3592-6611
Fax : 045-345-0786

販売元 : AEPジャパン株式会社

Webサイト : <https://aepjapan.com/>
お問い合わせ : sales@aepjapan.com

テスト機能	NSA-K30	NSA-K3 I
CAT5e / 6 / 6A Certi-Lite（詳細印刷レポート付）	✓	✓
DC抵抗アンバランス & P2P 	✓	✓
ワイヤーマップ（障害までの距離を含む）	✓	✓
MM / SM Fiberループバックテスト	✓	✓
MM OTDR		※
SM OTDR		※
※ 別売のOTDRアダプタを購入することにより、すべてのモデルでOTDR機能をご利用いただけます		
Hybrid Powered Fiber 電圧テスト 	✓	✓
PoE負荷 / 検証テスト 	✓	✓
Multi-Gig オートテスト 	✓	✓
Multi-Gig (2.5 / 5 / 10G) SNR 	✓	✓
100 / 1000 BASE-T SNRテスト 	✓	✓
BASE-T ネットワーク接続 (スイッチの詳細、Traceroute、Ping、TCP接続など)	✓	✓
ワイヤレスネットワーク接続 *  (APの可用性、信号強度、Traceroute、Pingなど)	✓	✓
NSA リモートパック #2 - #8		
リモートIDキット（リンク識 #2 - #8、ノイズフィルタリングトーンプローブを含む）		
TestDataProの結果管理ソフトウェア - PCベース & クラウド	✓	✓

☆ 上記ガイド内の「黄色」マーカー部分は、特にNSAの優れた部分です

* ワイヤレス機能を利用するには、Edimax EW-7822ULC Wi-Fi USBアダプタを小売店などで別途購入する必要があります。

注：テストアダプターを含むすべてのアクセサリは、どのキットとも互換性があり、必要に応じてテスト機能を構築することができます。